

武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

平成23年3月15日

vol.6

発行 武蔵野市環境生活部ごみ総合対策課
住所 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28
電話 0422-60-1802
E-mail sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp
ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/

レジ袋削減に関する協定をむすびました

平成22年11月

レジ袋を使っているスーパー（事業者）・武蔵野市ごみ減量協議会（市民）・武蔵野市の3者で「武蔵野市におけるレジ袋削減に関する協定」を結びました。「使い捨てになることが多いレジ袋はもらわない・マイバッグを持って買い物に出かける」といったライフスタイルや環境意識の変化をめざして、3者協働で取り組んでまいりますので、ぜひご協力下さい。

締結事業者 スーパーマーケット12社

- | | | |
|----------|----------------|------------|
| ・アトレ吉祥寺 | ・イトーヨーカドー | ・エコス（たいらや） |
| ・紀ノ国屋 | ・グルメシティ関東 | ・京王ストア |
| ・サミットストア | ・コープとうきょう | ・西友 |
| ・東急ストア | ・Big-A(ビッグ・イー) | ・ライフ |

（スーパーマーケット各社と締結）



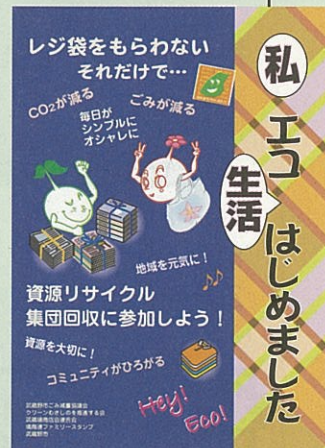
マイバッグからはじめる **プチ** エコキャンペーン

～レジ袋を減らすキャンペーンを行いました～

平成21年度に引き続き「マイバッグからはじめるプチエコキャンペーン」に取り組みました。市内スーパーマーケット・商店会・その他の皆様のご協力をいただきさまざまな取り組みが行われ、参加イベントでは合計2,723名の方にご参加いただきました。パネルアンケートではマイバッグをもっていない方の多くが、「ちょっと出かけた帰りに買い物にきたので、今日はマイバッグを持っていない…」と回答されました。お出かけのときにはマイバッグをポケットやバッグに入れて持ち歩きませんか？



中央地区商連ポスター



境商連ポスター



マイバッグを作ろう



プチエコアンケート



プチエコ抽選会

武蔵野ごみチャレンジ600g

★あなたもおうちのチャレンジ度をチェック★

武蔵野市では多摩地域最少のごみ排出量をめざして、「セカンドステージ！ 武蔵野ごみチャレンジ600グラム」宣言をしています。1日に市民1人が出すごみ・資源物の量を600グラム以下にしよう！という宣言ですが、達成するためには1日100グラム(たまご2個ぐらいの重さ)を減らす必要があります。

おうちのチャレンジ度をチェックして、ごみの少ない生活をはじめてみませんか？

チェックすること

	★もちろん！ できている <10点>	★だいたい できている <5点>	★まだだけど やってみたい <2点>
1 買い物にはマイバッグを持って行く	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 つめかえ商品やマイボトル・マイ箸を使っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 お店で回収している容器はお店に返している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 読み終わった新聞紙は、販売店に返す または、集団回収にだす	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 ざつがみを資源回収に出している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 買う前に「本当に必要なものか？」よく考える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7 使わない記念品や景品は思い切って断る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8 生ごみは水分をしっかりと切る	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9 食べ残しや、賞味期限切れをふせぐ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 生ごみを堆肥化している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

10×__個+5×__個+2×__個= 点

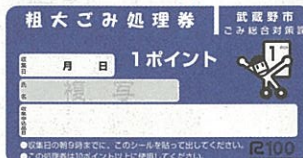
- 90~100点 … すばらしい！お友達や家族にもごみチャレンジを勧めてみましょう
- 70~89点 … チャレンジ上級者です。このほかにもチャレンジできることを考えてみましょう
- 50~69点 … チャレンジ中級者です。ごみを減らしてシンプルなくらしをしてみませんか？
- 20~49点 … もうひといき！まずはできるチェック項目から取り組んでいきましょう

お知らせ！

4月1日より粗大ごみのポイント制度が変わります。(10ポイントを超える場合)

粗大ごみは収集予約時に、市が指定するポイント分の粗大ごみ処理券(ポイント券)を購入していただいています。現在は合計10ポイント以下の場合、一律10ポイントの扱いで、10ポイントを超える場合5ポイントごとの加算をしていますが、4月1日からは10ポイン

トを超える場合、1ポイントごとに加算されるようになります。これにともない、4月1日から10ポイント券(1000円)と15ポイント券(1500円)の他に1ポイント券(100円)が使えるようになります。



資源ごみの無断持ち去りを禁止する条例を4月1日より施行します

この条例では、ごみを出す人の許可なしに勝手にごみを持ち去ってはならないとしており、勝手な持ち去り等の行為はあきらかな禁止行為となります。

1 レジ袋をことわると…

- ①ごみが減る→レジ袋は1枚10g程度の重さがあります。日本では一人あたり年間300枚のレジ袋を消費しています。
- ②CO2の削減につながる→レジ袋の製造や処理にはたくさんのエネルギーが使われています。
- ③いらぬものはもらわない→使い捨てになることが多いレジ袋をもらわないことをきっかけに…これまでの生活を見直してみましょう。



3 トレイ・ペットボトル・牛乳パック・缶などは買ったお店に返すことで、ごみを減らして、リサイクルの輪をつなげられます。

2 くりかえし使えるマイボトル・マイ箸、つめかえ商品を使えば容器包装のごみを減らすことができます。

出かけるときは マイボトル マイ箸

4 読み終わった新聞を販売店に返すか、地域の集団回収に出すことで、回収・再資源化にかけられている税金を節約できます。

6 安くても迷ったときには、買わないことにしましょう

7 もらうのは無料ですが、捨てるのは有料です。

いらぬものは買わない!! 断わる!! もらわない!!

5 ざつがみ(雑紙)を資源回収に出す

平成21年度に市が実施した分析では、燃やすごみの中に11%資源化できる紙類が含まれていました。空き箱・包装紙・封筒・メモ用紙などは小さくてもまとめれば再利用できる資源になりますので、紙袋・透明袋にまとめるなどして古紙回収に出してください。



8 燃やすごみの半分近くは生ごみです。そして生ごみには水分が6~7割含まれています。調理のときに食材をぬらさない、生ごみの水をしっかりとしぼる、生ごみを出す前に乾かすことによって、生ごみに含まれている水分をへらし、ごみ処理に使われるエネルギーを節約しましょう。

9 日本全国で家庭から出る生ごみのうち、食べられるのに捨てられている量は200~400万トン！(1日一人あたり40g) そのほとんどは食べ残しや賞味期限切れが原因です。食べられる分だけ調理する・冷蔵庫を整理する・賞味期限切れを防ぐメモをするなどの工夫をして、ごみと食費をスリムにしましょう。

冷蔵庫はすっきり! 食べ物を無駄にしない 残さずおいで食べる

10 コンポスターや生ごみ活かす君で堆肥化に挑戦!

生ごみは土にかえす

お申し込み・お問い合わせはクリーンむさしのを推進する会 武蔵野市役所0422-51-5131 内線2514 (月水金9~16時)

事業系ごみ減っています！

Ecoパートナー事業者を認定・表彰しました



市では平成14年度以来、ごみの排出量が月10トン以上の多量のごみを排出する事業者に対し、廃棄物保管場所の立入検査・指導を繰り返し実施し、事業活動に伴って発生するごみの減量・資源化を推進しています。平成21年度は平成13年度に比べ、6,000トン以上の事業系ごみが減量されました。

これを受け市では平成19年(2007年)から、雑紙・生ごみの全量資源化に取り組んでいる優良な事業者を「Ecoパートナー」に認定し、表彰しています。2011年は22事業者を認定・表彰しました。



2011年認定・表彰事業者

亜細亜学園
アトレ吉祥寺
イトーヨーカドー 武蔵境店
*いなげや武蔵野桜堤店
*いなげや武蔵野関前店
*いなげや武蔵野西久保店
NTT武蔵野研究開発センター
エフエフビル管理組合

吉祥寺第一ホテル
吉祥寺東急イン
*コピス吉祥寺
サミットストア武蔵野緑町店
西友吉祥寺店
東急百貨店吉祥寺店
パルコ吉祥寺店
ファミリープラザビル

丸井吉祥寺店
三鷹東急ストア
武蔵野給食センター
モンテローザ
横河電機
ヨドバシカメラ マルチメディア吉祥寺

(市内事業者を認定)

*は新規認定事業者

新クリーンセンターの地球温暖化対策を検討するため、昨年12月に「白煙防止装置を止める実験」を実施しました！

周辺の皆さんへのアンケートや排ガス分析を行って新クリーンセンターの委員会、協議会で「白煙防止装置」を地球温暖化対策や経済性などの観点から設置しない方向で検討しています。実験の詳細は、ホームページでご確認下さい。

*詳しくは、市ホームページ、クリーンセンターへお問い合わせ下さい(電話 0422-54-1221)

